

- ◆企画名 交換留学生キャンパスツアー
日 程 平成 23 年 9 月 12 日 (月) ～9 月 13 日 (火)
場 所 千里山キャンパス
参加者数 102 名 (KU ブリッジ 9 名、来日時ボランティア 30 名、留学生 63 名)
目 的

来日してまもない留学生に、これからの学生生活を行っていくキャンパス内を案内することで、少しでも早く大学に慣れてもらう。あわせて使用する頻度の高い施設を重点的に説明することで、今後の学生生活を円滑に進められるようにする。

内 容

[参加人数]

12 日 : KU ブリッジ 9 名、来日時ボランティア 15 名、留学生 32 名

13 日 : KU ブリッジ 7 名、来日時ボランティア 15 名、留学生 31 名

[実施形態]

KU ブリッジメンバーが 2 班に分けた留学生と来日時ボランティアをグループ単位で引率し、キャンパス主要の施設を案内してまわる。

図書館案内は KU コアラが担当 (7 名)。

[行程]

1 班 : 凜風館→保健管理センター→第 1 学舎→あすかの庭で記念撮影→100 周年記念会館→教務センター→IT センター→国際部交流室→図書館

2 班 : 凜風館→保健管理センター→第 1 学舎→あすかの庭で記念撮影→IT センター→教務センター→100 周年記念会館→国際部交流室→図書館

[当日スケジュール]

11 : 30～ 国際部集合、水の運び出し、受付の準備、動きの確認

13 : 00～ 企画開始 (2 班に分かれて移動)

15 : 00 解散次第、PCR へ

～16 : 00 フィードバック



感 想

KU ブリッジに入ってから 2 つ目の企画で、何をしても良いかもまだよくわからない状態でしたが、他のブリッジメンバーが助けてくれました。人前で話すことが苦手で、沢山の留学生の前で指示出しをしたり、説明するのは大変でしたが、良い経験になりました。この経験を活かして、次の企画も頑張りたいと思います。

改善点

- ・日本語が理解できない学生も多くいたので英語でアシストしたり、前だけではなく後ろの人にも解説したりする必要性を感じた。
- ・市役所の手続きが予想より早く済んだため、KU コアラの担当者に少し早めの対応をお願いすることとなり迷惑がかかった。
- ・あらかじめ立てていたタイムスケジュールをあまり気にせず回っていたので時間の管理をしっかりとするべきだった。
- ・言い方やタイミング、声の大きさに気をつけてもっと指示を出しても良かった。
- ・抜ける人ができたときの対応を事前に考え、共有しておく。
- ・来日時ボランティアであまり協力的でない人がいた。→事前にしてほしい事を確認しておく。
- ・列が広がってしまったのでスペースを気にしながら歩き、後ろから声掛けなどをする。